

高知県商工団体連合会 NO.845(50-29)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ http://kosityoren.web.fc2.com/
このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

仲間増やしをすすめよう

中村民商 会員が増えました

四万十ウエディングの会員3人が協力して会員を拡大。今年最初の入会者です。

共済会・婦人・青年 同時加入をすすめよう

会員は7名増えていますが、共済会・婦人部・青年部の拡大が進んでいません。同時加入が徹底されていない状況です。入会時には、同時加入を積極的に勧めましょう。

■春の運動・拡大状況 (1/27)

	大 拡 大					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安 芸	0	0	0	0	0	0
香美郡	5	1	1	0	0	4
南 国	2	0	1	0	0	2
高 知	11	5	0	2	0	5
仁淀川	1	0	0	0	0	1
須 崎	0	0	0	0	0	0
中 村	1	1	0	1	0	3
計	20	7	2	3	0	15

成果会員:読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

統一地方選挙でも、「高知憲法アクション」が推す候補者を支援します

高商連常任理事会で確認

1月23日に開いた、高商連第5回常任理事会で、「安倍暴走政治、消費税増税、9条改憲」を許さない立場から、4月の統一地方選挙に関連して、「①高知憲法アクションが擁立又は推薦・支持する候補者については、政党の公認候補であっても高商連として宣伝、対話、支持拡大に取り組む、②各民商にもこうした立場で臨むことを呼びかけること」を確認しました。



「身内の人間が責任者を務めるのはよくあること」とのこと。素人、一般国民には理解できない構図。沖縄県の辺野古埋め立て承認撤回でも、行政不服審査法を逸脱・悪用して、防衛省沖縄防衛局は「撤回取り消し」を、国土交通相へ審査請求した。身内での形ばかりの審査で、当然、「取り消し」となった。国会では、野党5党・1会派が協力して安倍内閣を追求する態勢になっている。7月の参議院選挙では全国32の1人区で候補者を一本化する事も合意した。統一地方選挙、参議院選挙で「アベ政治ノー」の審判を下し、安倍内閣退陣、消費税増税中止を勝ち取りましょう。

高知県でまだ採択されていない自治体。

<安芸エリア>

・東洋町 ・室戸市

<仁淀川エリア>

・仁淀川町

<中村エリア>

・宿毛市 ・三原村

9月の全国業者婦人決起集会までの全採択をめざしています。

成で可決、安田町議会では14日、9人の議員の満場一致で可決されました。安田町議会の傍聴には、近藤恵子部長はじめ、田村成子県婦協会長、片山澄子県婦協副会長、入江博孝県連事務局長も駆け付け、議会終了後には、力になってくれた濱口智恵男議員(無所属)、田之上健太議員(無所属)が意見書案を読み

北川村議会では19日、大西学議員(無所属)が意見書案を読み上げた。北川村議会では19日、大西学議員(無所属)が意見書案を読み上げた。北川村議会では19日、大西学議員(無所属)が意見書案を読み上げた。

上げ、「今の時代にそぐわない制度に憤りを感じている」と主張。7人中6人の賛成で可決されました。事前に村議を訪ねて対話した

際には「青色申告にすればいい」などと言われたことも。人権問題であることや受けている不利益などを訴えて理解を広げてきたため、喜ぶもひとしおでした。

を伝えて、議員を紹介してもらったことも大きな後押しになりました。北川村、安田町の議員訪問から始め、資料作成や議員訪問、議員への声掛けなどで、みんなの力を借りて、今回の「陳情書」と「意見書(案)」提出、採択につながりました。

高知県協では07年の高知県議会を皮切りに、35自治体中30自治体で採択を勝ち取っています。安芸民商婦人部でも、この勢いで、室戸市、東洋町の採択に向けて取り組みを続けていきます。(安芸・近藤恵子通信員)

高知・芸西村議会、安田町議会、北川村議会は、12月議会で「所得税法第56条廃止を求める意見書」を採択しました。安芸民商婦人部と県協が提出したもので、高知県内での3自治体同時採択は9年ぶりです。

芸西村議会で12月13日、9人中7人の賛成で可決、安田町議会では14日、9人の議員の満場一致で可決されました。安田町議会の傍聴には、近藤恵子部長はじめ、田村成子県婦協会長、片山澄子県婦協副会長、入江博孝県連事務局長も駆け付け、議会終了後には、力になってくれた濱口智恵男議員(無所属)、田之上健太議員(無所属)が意見書案を読み上げた。

成で可決、安田町議会では14日、9人の議員の満場一致で可決されました。安田町議会の傍聴には、近藤恵子部長はじめ、田村成子県婦協会長、片山澄子県婦協副会長、入江博孝県連事務局長も駆け付け、議会終了後には、力になってくれた濱口智恵男議員(無所属)、田之上健太議員(無所属)が意見書案を読み上げた。

北川村議会では19日、大西学議員(無所属)が意見書案を読み上げた。北川村議会では19日、大西学議員(無所属)が意見書案を読み上げた。

上げ、「今の時代にそぐわない制度に憤りを感じている」と主張。7人中6人の賛成で可決されました。事前に村議を訪ねて対話した

際には「青色申告にすればいい」などと言われたことも。人権問題であることや受けている不利益などを訴えて理解を広げてきたため、喜ぶもひとしおでした。

を伝えて、議員を紹介してもらったことも大きな後押しになりました。北川村、安田町の議員訪問から始め、資料作成や議員訪問、議員への声掛けなどで、みんなの力を借りて、今回の「陳情書」と「意見書(案)」提出、採択につながりました。

高知県協では07年の高知県議会を皮切りに、35自治体中30自治体で採択を勝ち取っています。安芸民商婦人部でも、この勢いで、室戸市、東洋町の採択に向けて取り組みを続けていきます。(安芸・近藤恵子通信員)

高知・芸西村、安田町、北川村

3自治体で同時採択 議員に声掛け強め

高知県協と安芸民商婦人部



尽力してくれた安田町の濱口議員(右から2人目)、田之上議員(右から3人目)とともに採択を喜ぶ高知県協と安芸民商婦人部役員

商工新聞でも紹介されました。(1/21)記事の中に、北川村議会で「7人中6人の賛成で」とありますが、議長を除く6人の賛成で「満場一致」で可決されています。

第三者と言えるのか

勤労統計不正問題特別監察

国会も始まり、毎月勤労統計調査が最大の争点となっている。ざっとした調査の上に、特別監察の内容・報告書も、これまたざっとしており、火に油を注ぐ事態に。「第三者調査」といいながら、実は「身内」による調査で済まそうとしていたのである。

それもそのはず！監察委員長は「労働政策研究・研修機構」理事長。調べてみると、ビックリ！監督官庁は「厚生労働省」。マスコミも問題にしていないようだが、税金が5年間で125億円もつぎ込まれている団体。調べていくと、「運営費交付金(税金)の算定ルール」の中に、「(略)主務大臣(厚生労働大臣)による評価等を総合的に勘案し、毎年度の予算編成過程において決定」とある。厳しい監察ができるはずがない。国会議員秘書に聞いてみると、「身内の人間が責任者を務めるのはよくあること」とのこと。素人、一般国民には理解できない構図。